

# 福利厚生だより

今回は、九州ろうきんと連携し、資産形成について特集号を企画してみました。老後の生活をより豊かなものとするために、皆さんも現役時代から、資産形成について考えてみてはいかがでしょうか。

日本は世界有数の長寿国で、80歳まで元気であることはもはや当たり前の時代です。一方、少子高齢化等により公的年金の給付水準は低下しており、公的年金の不足を補うために現役時代からの資産形成は必須です。今回は、資産形成に役立つ制度をご紹介します。



九州労働金庫 博多支店

平湯さん



※1 総務省 家計調査年報(家計収支編)令和元年(2019年)家計収支の概況

※2 公益財団法人生命保険文化センター 令和元年度「生活保障に関する調査」

## 1. 企業型DC (Defined Contribution Plan : 確定拠出年金)

企業型DCは、企業が掛金を拠出し、従業員自ら年金資産の運用を行う制度です。預金や投資信託等の中から選び、運用することで年金資産の成長が期待できる、老後の資産形成に有効な制度です。会社でもJR九州DCプランが2018年より開始されており、掛金を賞与から拠出するので、無理なく始めることができます。

### メリット

- 運用益が**非課税**である
- 受取時に退職所得控除や公的年金控除の対象となる
- 拠出金額は給与とみなされないため、税金や社会保険料が軽減される

### 留意点

- 60歳到達まで引き出し不可
- 元本割れのリスクがある

JR九州労組では年金共済(拠出型企業年金保険)を取り扱っています。詳細は、福利厚生だよりNo.6(2020.9.3付)をご確認ください。

## 2. つみたてNISA (Nippon Individual Savings Account : 個人貯蓄口座)

つみたてNISAは、2018年にスタートした少額からの長期・積立・分散投資を支援するための非課税制度で、毎年40万円を上限として、20年間一定の投資信託が購入可能です。法令によって長期・積立・分散投資に適した投資信託のみに限定されており、投資初心者の方にも利用しやすい仕組みとなっています。

### メリット

- 20年間投資信託を保有することで得る分配金と値上がり後に売却して得る利益が非課税となる
- 随時売却により換金が可能

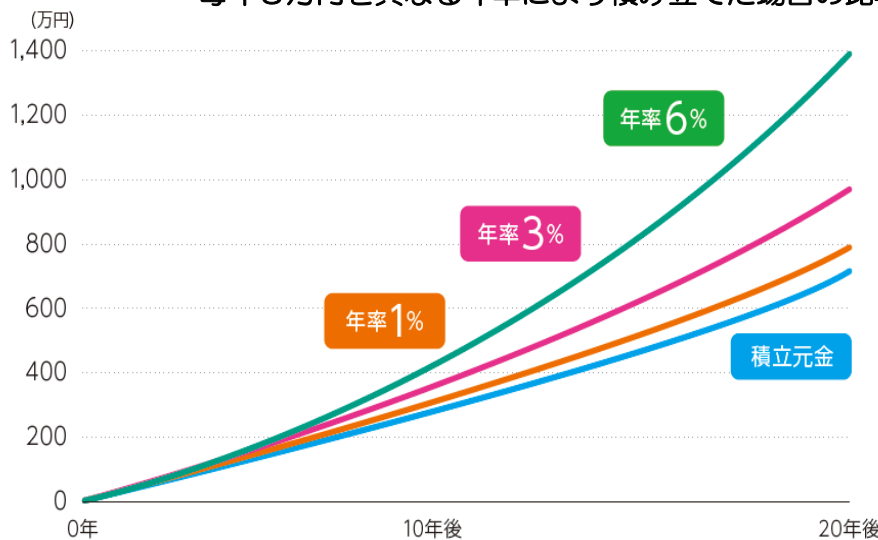
### 留意点

- 元本割れのリスクがある



企業型DC・つみたてNISAによる運用は、リスク（リターンの振れ幅）とうまく付き合うことで預金では実現できない成果を期待できます。また、時間を味方につけることで複利効果（運用益をさらに運用することで利益を増幅）を期待できます。複利効果について、わかりやすく下図にて説明します。

毎年3万円を異なる年率により積み立てた場合の比較



20年後には…



年率6%で積立: 約1,393万円

年率3%で積立: 約987万円

年率1%で積立: 約797万円

積立元金: 約720万円

※ 算出にあたって利息は毎月の複利計算で算出していますが、税金・手数料等を考慮していないため実際の運用とは異なります。また、将来の成果を約束するものではありません。

年率1%でも20年後には運用益が約77万円となります。企業型DC・つみたてNISAでは、運用益が非課税のため、全額受け取りが可能です。なんとなく通帳に貯め続けるよりも、これらの制度を活用することで大きな差が生まれます。

資産運用の資金を捻出するため、住宅費や通信費、被服費、娯楽費など支出全体の見直しやローン金利の見直しも有効です。

つみたてNISAやローン借り換えは、九州ろうきんまでご相談ください。

